

資料 2 - 2

米沢市地域防災計画の改定（案）に対する議会からの意見への回答について

番号	編・章	頁	意見の概要	回答	修正の有無																													
1	概要版 P. 11 資料編	P. 45	【米沢市議会 民生常任委員会協議会での意見】 ■米沢市指定避難場所 耐震性が不足する置賜総合文化センターを指定避難所から除くべきではないか。	置賜総合文化センターは、昭和 50 年度に建設された鉄筋コンクリート造の 4 階建て建物で、築 46 年が経過しています。 平成 27 年度に実施した耐震診断において、下表のとおり耐震補強が必要となる結果となったことから、平成 28 年度に 1 階で最も耐震性能が低い位置に耐震壁の増設工事を行っておりますが、それでも耐震診断の指標となる IS 値が 0.6 未満の箇所があるため、全体として耐震性が不十分とされています。 現在、改修工事の実施判断を見送っている現状であり、耐震性が確保されるまでの間は指定避難所から除外するものとします。 <table><tr><th rowspan="2">階</th><th colspan="2">X 方向（桁行）</th><th colspan="2">Y 方向（はり間）</th></tr><tr><th>I S</th><th>C T U S D</th><th>I S</th><th>C T U S D</th></tr><tr><td>4 階</td><td>0.75</td><td>0.77</td><td>0.66</td><td>0.68</td></tr><tr><td>3 階</td><td>0.52</td><td>0.53</td><td>0.72</td><td>0.75</td></tr><tr><td>2 階</td><td>0.56</td><td>0.58</td><td>0.65</td><td>0.67</td></tr><tr><td>1 階</td><td>0.50</td><td>0.51</td><td>0.51 (0.16)</td><td>0.53 (0.17)</td></tr></table> ※（カッコ）内の数値は耐震補強工事前の数値 (参考) 建物の耐震性能は、Is 値（構造耐震指標）で表します。この Is 値は、地震に対する建物の強度や靱性（変形能力、粘り強さ）、建物の形状バランス、劣化状況などから算出します。 Is 値が大きいほど耐震性能が高いとされており、以下の耐震性能判定で分類されます。一般的には、震度 6 強～7 程度の規模の大地震発生時に安全であると考えられているレベルが 0.6 以上に設定されています。	階	X 方向（桁行）		Y 方向（はり間）		I S	C T U S D	I S	C T U S D	4 階	0.75	0.77	0.66	0.68	3 階	0.52	0.53	0.72	0.75	2 階	0.56	0.58	0.65	0.67	1 階	0.50	0.51	0.51 (0.16)	0.53 (0.17)	有
階	X 方向（桁行）		Y 方向（はり間）																															
	I S	C T U S D	I S	C T U S D																														
4 階	0.75	0.77	0.66	0.68																														
3 階	0.52	0.53	0.72	0.75																														
2 階	0.56	0.58	0.65	0.67																														
1 階	0.50	0.51	0.51 (0.16)	0.53 (0.17)																														

番号	編・章	頁	意見の概要	回答	修正の有無
				①$I_s \geq 0.6$: 地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が低い ②$0.6 > I_s \geq 0.3$: 地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性がある ③$0.3 > I_s$: 地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が高い	
2	概要版 P. 12 資料編	P. 44	【米沢市議会 市政協議会での意見】 ■ペット同行避難について 他の自治体では、災害時に飼い主と犬、猫が同室で避難生活を送ることができる同伴避難を導入している事例もあることから、米沢市でも受け入れる体制を整えるべきではないか。 また、山形県獣医師会等の専門家からの指導や助言をもらうなどして、ペット同行避難者を受け入れしやすい体制づくりを進めていくべきではないか。	過去の災害において、避難所には、アレルギー、鳴き声、臭い等の理由から動物を嫌がる避難者がおり、避難者間でのトラブルになる事例も報告されていることから、このたびの地域防災計画改定においては、ピロティのある市内5か所の中学校をペット同行避難ができる避難所として明記し、ペットの飼育スペースは、避難者の居住スペースとは別の場所に配置することにしております。 現時点としては、コロナ禍においては、避難者同士の距離を離す感染防止対策をとることにしており、通常期よりも避難所で受け入れられる人数が制限されている現状でもあるため、一人でも多くの避難者を受け入れるためには、居住スペースを分けることはやむを得ないものと考えております。 しかしながら、最近ではペット同伴避難を認める自治体が増えてきていることから、先進事例を研究するとともに、山形県獣医師会置賜支部やペットに関わる事業者等と相談し、ペット同伴避難の可能性について検討していきます。 また、災害時におけるペット同行者の受け入れ体制について、避難所開設・運営マニュアルの見直しを行います。	無